

平成21年度三重県公営企業会計（企業庁）

決算審査意見書概要説明

三重県監査委員

# 平成 21 年度三重県公営企業会計（企業庁） 決算審査意見書概要説明

## 第1 審査の概要

審査の対象は、平成 21 年度の三重県水道事業、工業用水道事業及び電気事業の 3 事業会計です。

決算の審査は、知事から提出された決算書類の内容について

- ① 決算の計数は正確であるか
- ② 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- ③ 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- ④ 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、各会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果も参考に、慎重に審査を行いました。

（以下、説明上、金額は万円未満を切り捨てています。）

## 第2 審査の結果及び意見

### 1 審査の結果

三重県企業庁が経営している水道、工業用水道、電気の 3 事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、企業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められます。

また、各事業の経営については、以下の審査意見のとおり留意又は改善を要するもののほかは、概ね適正に処理されているものと認められます。

## 2 審査の意見

### ア 水力発電事業の民間譲渡について

水力発電事業の民間譲渡については、鋭意取り組まれてきたところではありますが、新たに中部電力(株)の運転監視システムの整備が必要となったことなどから、譲渡の時期が平成25年度または平成26年度に延期されることとなりました。

譲渡時期が再び延期されることのないよう、中部電力(株)及び関係機関との協議を着実に進めるとともに、協議の進捗状況について、県民に対し十分な情報提供を行っていただきたい。

### イ 水力発電事業譲渡後のRDF焼却・発電事業の運営体制について

RDF焼却・発電事業は、地方公営企業法上の法定事業である水力発電事業の附帯事業として運営されていますが、水力発電事業が中部電力(株)に譲渡された後は、企業庁が附帯事業として運営していくことができなくなることから、関係部局と協議を進め、水力発電事業譲渡後のRDF焼却・発電事業の運営体制について明確にしていきたい。

### ウ RDF焼却・発電事業の平成29年度以降のあり方について

RDF焼却・発電事業の平成29年度以降の事業のあり方について、目途とする平成22年度末までに関係市町等との合意が得られるよう、早急に課題の解決に取り組んでいただきたい。

### エ 工業用水道事業の需要拡大について

北伊勢工業用水道事業については、平成21年度に契約水量が3,730 m<sup>3</sup>/日増加したものの、平成22年3月31日現在において、112,340 m<sup>3</sup>/日の未契約水量が存在します。

中伊勢工業用水道事業については、平成21年度に契約水量が3,200 m<sup>3</sup>/日減少し、平成22年3月31日現在において、15,510 m<sup>3</sup>/日の未契約水量が存在します。

厳しい経済状況の下ではありますが、企業誘致部局等と連携し、工業用水の需要の拡大に引き続き努めていただきたい。

契約水量の状況（平成22年3月31日現在）

（単位：m<sup>3</sup>/日）

事業名	給水能力①	契約水量②	契約率 ②/①
北伊勢工業用水道事業	830,000	717,660	86.5%
中伊勢工業用水道事業	33,000	17,490	53.0%
松阪工業用水道事業	38,500	38,500	100.0%
多度工業用水道事業	10,000	10,000	100.0%
計	911,500	783,650	86.0%

### オ 施設改良の推進について

東海地震、東南海・南海地震等の大規模地震の発生が懸念されている中、県民のライフラインの確保、ユーザー企業への給水障害防止のため、水道事業、工業用水道事業の水管橋、主要施設等の耐震化を引き続き進めていきたい。

また、平成17年度から平成21年度までの5年間に、水道事業で15件、工業用水道事業で22件の漏水が発生し、水道事業で2件、工業用水道事業で1件の給水障害が生じているので、引き続き施設設備の老朽劣化対策を進めていきたい。

### カ 長期債務の繰上償還について

企業庁では、水道事業及び工業用水道事業において、従来から高金利企業債の借換や繰上償還、並びに水資源機構割賦負担金の繰上償還を実施し、平成21年度までに約180億6,100万円の支払利息を軽減しています。

平成19年度から平成21年度までの3年間の特例措置として実施された公的資金補償金免除繰上償還制度が、平成22年度から3年間延長されることから、引き続き制度を積極的に活用し、支払利息の軽減に努めていきたい。

また、水資源機構割賦負担金の繰上償還についても、引き続き水資源機構に対し積極的に要望していきたい。

長期債務の繰上償還等状況（平成22年3月31日現在）（単位：百万円）

事業名	企業債繰上償還・ 借換累計額	水資源機構割賦負担金 繰上償還累計額	支払利息軽減累 計額
水道事業	24,242	20,669	11,892
工業用水 道事業	2,718	13,156	6,169
計	26,960	33,825	18,061

高金利企業債等の残高（平成22年3月31日現在）（単位：百万円）

事業名	高金利企業債 (利率5%以上)	水資源機構割賦負担金 (利率5.3%)
水道事業	658	1,478
工業用水道事業	2,543	5,176
計	3,201	6,654

キ 技術管理業務の包括的な民間委託と技術継承、指導監督者の育成について

工業用水道事業では、平成21年度から全ての浄水場において技術管理業務の包括的な民間委託が開始され、水道事業においても、平成24年度から技術管理業務の包括的な民間委託を開始することが計画されています。

水道事業の包括的な民間委託にあたっては、工業用水道事業での実績をあらゆる観点から十分に検証し、委託による効果を県民に対し十分説明するとともに、用水供給事業を行う事業者としての責任を全うできるよう万全を期していただきたい。

また、民間委託の拡大に伴い、受託業者に対する指導監督能力が一層求められることから、業務にかかる知識やノウハウの継承、職員の資質向上に重点的に取り組んでいただきたい。

## ク 次期中期経営計画の策定について

「三重県企業庁中期経営計画（平成 19 年度～平成 22 年度）」については今年度で終了します。

次期中期経営計画（平成 23 年度～平成 26 年度）の策定にあたっては、水力発電事業の民間譲渡、RDF 焼却・発電事業の運営体制等、企業庁の今後 4 年間の重点的な取組についての方向性を明らかにしていただきたい。

### 第3 経営の概要

#### 1 経営収支の状況

平成21年度の経営収支を事業別にみると、水道事業が18億9,310万円の純利益、工業用水道事業が4億1,585万円の純利益、電気事業が3億188万円の純損失となっています。

前年度対比では、水道事業で3億1,199万円(19.7%)黒字額が増加し、工業用水道事業で4億9,027万円(54.1%)黒字額が減少しています。

電気事業では、水力発電事業が1億5,796万円の黒字となったものの、附帯事業であるRDF焼却・発電事業が4億5,985万円の赤字となったため、事業全体としては前年度に比べ2億4,091万円収支が悪化し、引き続き赤字となっています。

各事業の経営収支の合計は、純利益20億707万円で、前年度に比べて利益が4億1,919万円減少しています。

#### 2 長期債務の状況

平成21年度末の長期債務の残高は、企業債が887億6,302万円、水資源機構割賦負担金が66億5,391万円となっており、前年度末に比べて、企業債は70億8,009万円、7.4%減少し、水資源機構割賦負担金は19億3,294万円、22.5%減少しています。

#### 3 建設改良

平成21年度の建設改良費は、46億8,628万円で、前年度に比べて、71億9,954万円、60.6%減少しています。

#### 4 一般会計繰入金

平成21年度の一般会計からの繰入金は、36億3,935万円で、前年度に比べて、21億4,183万円、37.0%減少しています。

## 第4 事業会計別の状況

### 1 三重県水道事業

#### (1) 事業の概況

平成21年度の給水実績は83,598,375m<sup>3</sup>で、前年度の78,536,745m<sup>3</sup>から5,061,630m<sup>3</sup>増加し、前年度比106.4%となっています。

建設改良費は22億9,653万円で、前年度に比べて70億4,992万円、75.4%減少しています。

#### (2) 経営収支の状況

平成21年度の経営収支は、総収益が120億23万円、総費用が101億713万円で、18億9,310万円の純利益となりました。前年度に比べて3億1,199万円、19.7%純利益が増加しています。

水系別の経営収支は、北中勢水道用水供給事業（北勢系）の三重用水系、北中勢水道用水供給事業（中勢系）の長良川水系、南勢志摩水道用水供給事業がそれぞれ黒字、北中勢水道用水供給事業（北勢系）の木曾川水系・長良川水系、北中勢水道用水供給事業（中勢系）の雲出川水系、伊賀水道用水供給事業がそれぞれ赤字となっています。

なお、伊賀水道用水供給事業は、平成22年4月から伊賀市水道事業へ一元化されています。

### 2 三重県工業用水道事業

#### (1) 事業の概況

平成21年度の給水実績は221,218,780m<sup>3</sup>で、前年度の225,165,127m<sup>3</sup>から3,946,347m<sup>3</sup>減少し、前年度比98.2%となっています。

建設改良費は23億3,209万円で、前年度に比べて1億4,025万円、5.7%減少しています。

#### (2) 経営収支の状況

平成21年度の経営収支は、総収益が62億890万円、総費用が57億9,304万円で、4億1,585万円の純利益となりました。前年度に比べて4億9,027万円、54.1%純利益が減少しています。



水系別の経営収支は、北伊勢工業用水道、松阪工業用水道、中伊勢工業用水道、多度・鈴鹿工業用水道のいずれにおいても、前年度に引き続き黒字となっています。

### 3 三重県電気事業

#### (1) 事業の概況

平成 21 年度の供給電力量は、水力発電事業が、289,849,940kWh で前年度の 321,656,215kWh から 31,806,275kWh 減少し、前年度比 90.1%となっています。RDF 焼却・発電事業は、46,600,840kWh で前年度の 49,688,180kWh から 3,087,340kWh 減少し、前年度比 93.8%となっています。

当年度の建設改良費は 5,765 万円で、前年度に比べて 936 万円、14.0%減少しています。

#### (2) 経営収支の状況

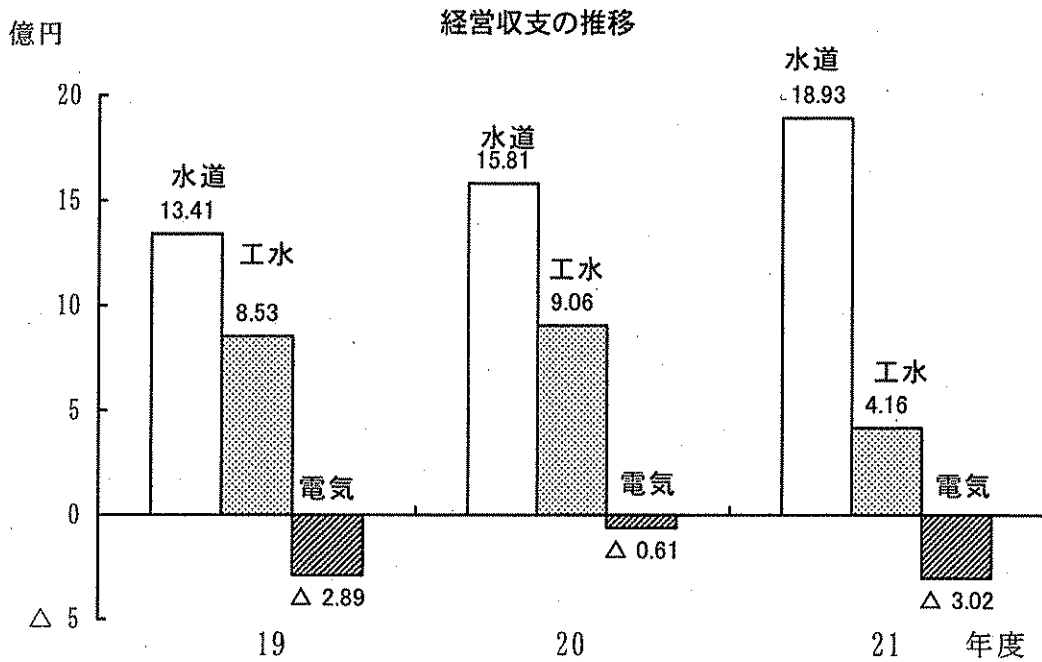
平成 21 年度の電気事業全体の経営収支は、総収益が 29 億 2,917 万円、総費用が 32 億 3,105 万円で、3 億 188 万円の純損失となり、前年度に比べて 2 億 4,091 万円損失が増加しています。

事業別の経営収支は、水力発電事業が 1 億 5,796 万円の黒字、RDF 焼却・発電事業が 4 億 5,985 万円の赤字となっています。

<資料>

1 平成21年度企業庁決算の概要（総括）

(1) 経営収支の状況



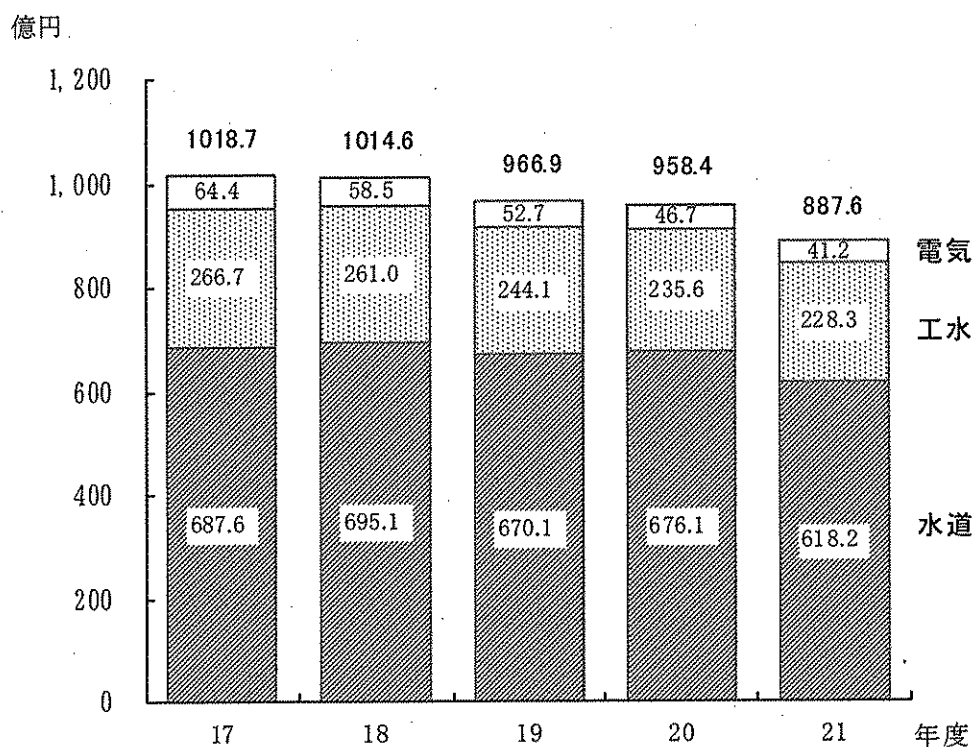
【平成21年度経営収支の内訳】

(単位：百万円)

事業名		総収益 (A)	総費用 (B)	当年度純損益 (A) - (B)		
水道事業		12,000	10,107	1,893		
内訳	北中勢水道	北勢系	木曾川用水系	1,184	1,192	△ 8
			三重用水系	2,846	1,710	1,136
			長良川水系	385	462	△ 77
		中勢系	雲出川水系	921	971	△ 50
			長良川水系	1,875	1,696	179
	南勢志摩水道		3,954	3,235	719	
	伊賀水道		835	841	△ 6	
工業用水道事業		6,209	5,793	416		
内訳	北伊勢工業用水道		5,256	4,613	643	
	松阪工業用水道		232	179	53	
	中伊勢工業用水道		173	152	21	
	多度・鈴鹿工業用水道		548	474	74	
	南伊勢工業用水道		0	375	△ 375	
電気事業		2,929	3,231	△ 302		
内訳	水力発電		2,180	2,022	158	
	R D F 焼却・発電		749	1,209	△ 460	
合計		21,138	19,131	2,007		

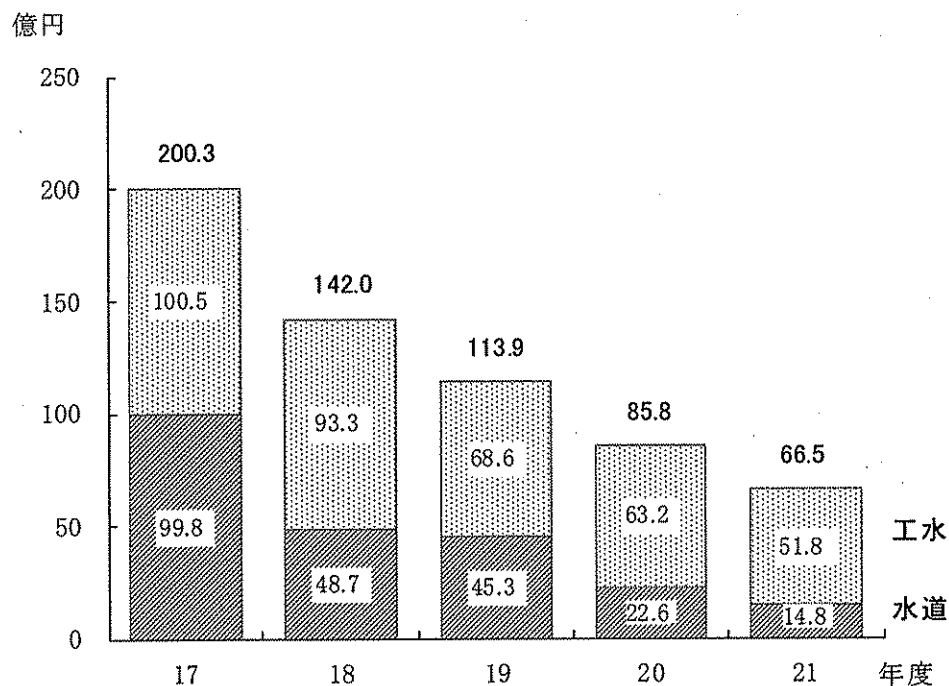
(注) 1 南伊勢工業用水道は、平成22年3月に廃止された。  
2 本表の金額は消費税及び地方消費税を含まない。

## (2) 企業債の残高



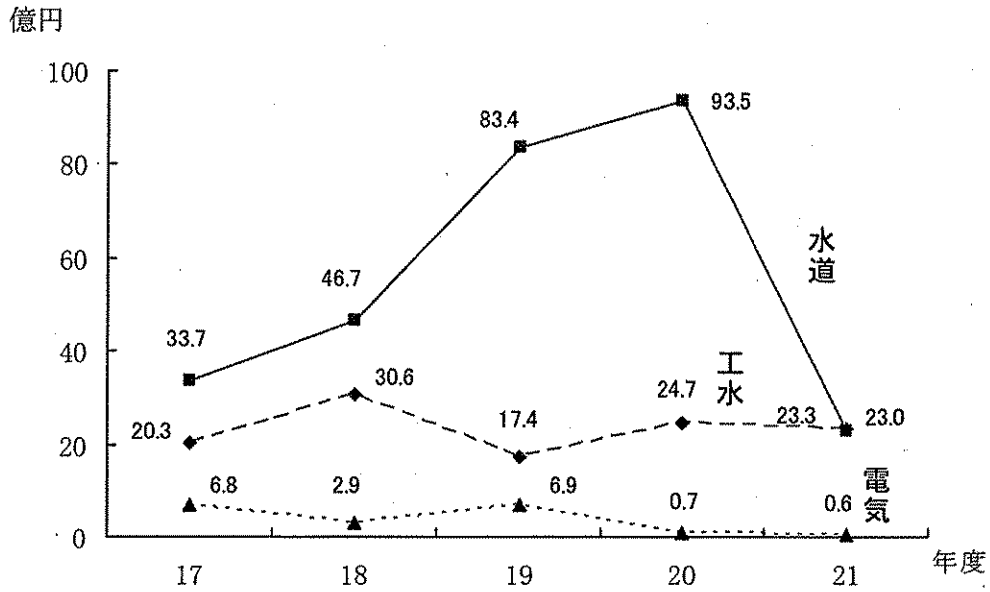
(\* 四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

## (3) 水資源機構割賦負担金の残高

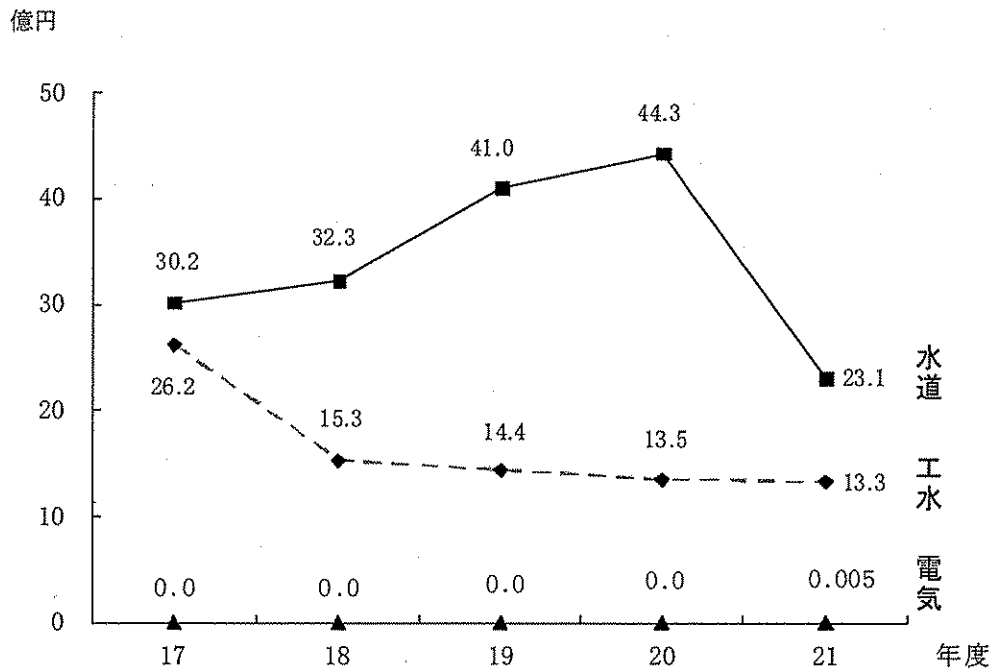


(\* 四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

(4) 建設改良費の推移

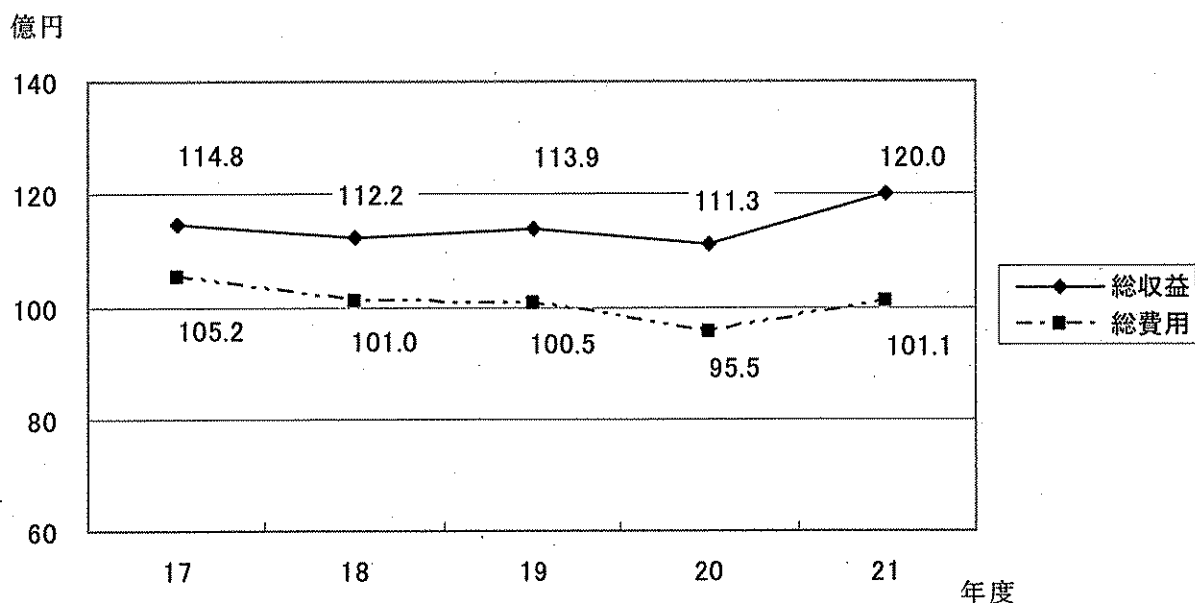


(5) 一般会計繰入金の推移



## 2 三重県水道事業

### (1) 総収益と総費用の推移



### (2) 主な経営成績

項目	平成21年度 (A)	平成20年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	(参考) 平成20年度 全国平均
給水能力 (m <sup>3</sup> /日)	482,816	447,066	35,750	553,775
年間総給水量 (千m <sup>3</sup> )	83,598	78,537	5,061	131,012
1日平均給水量 (m <sup>3</sup> /日)	229,037	213,998	15,039	358,885
1日最大給水量 (m <sup>3</sup> /日)	260,684	260,400	284	411,260
経常収益計 (千円)	12,000,233	11,128,374	871,859	12,116,242
経常費用計 (千円)	10,081,425	9,547,269	534,156	10,726,607
経常収支比率 (%)	119.0	116.6	2.4	113.0

(注) 1 経常収益＝営業収益＋営業外収益

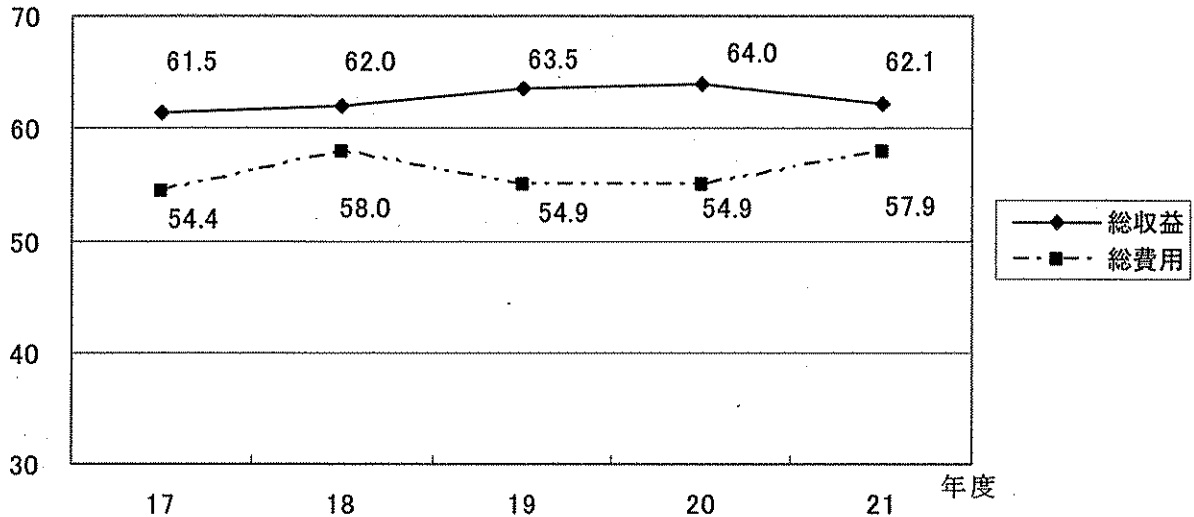
2 経常費用＝営業費用＋営業外費用

3 平成20年度全国平均は、「平成20年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」の都道府県営用水供給事業の平均値

### 3 三重県工業用水道事業

#### (1) 総収益と総費用の推移

億円



#### (2) 主な経営成績

項目	平成21年度 (A)	平成20年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	(参考) 平成20年度 全国平均
給水能力 (m <sup>3</sup> /日)	911,500	911,500	0	410,546
契約水量 (m <sup>3</sup> /日)	783,650	783,220	430	335,117
年間総有収水量 (千m <sup>3</sup> )	221,219	225,165	△ 3,946	118,797
1日平均有収水量 (m <sup>3</sup> /日)	606,079	616,891	△ 10,812	325,472
経常収益計 (千円)	6,197,051	6,398,310	△ 201,259	2,857,232
経常費用計 (千円)	5,422,849	5,473,804	△ 50,955	2,377,396
経常収支比率 (%)	114.3	116.9	△ 2.6	120.2

(注) 1 経常収益＝営業収益＋営業外収益

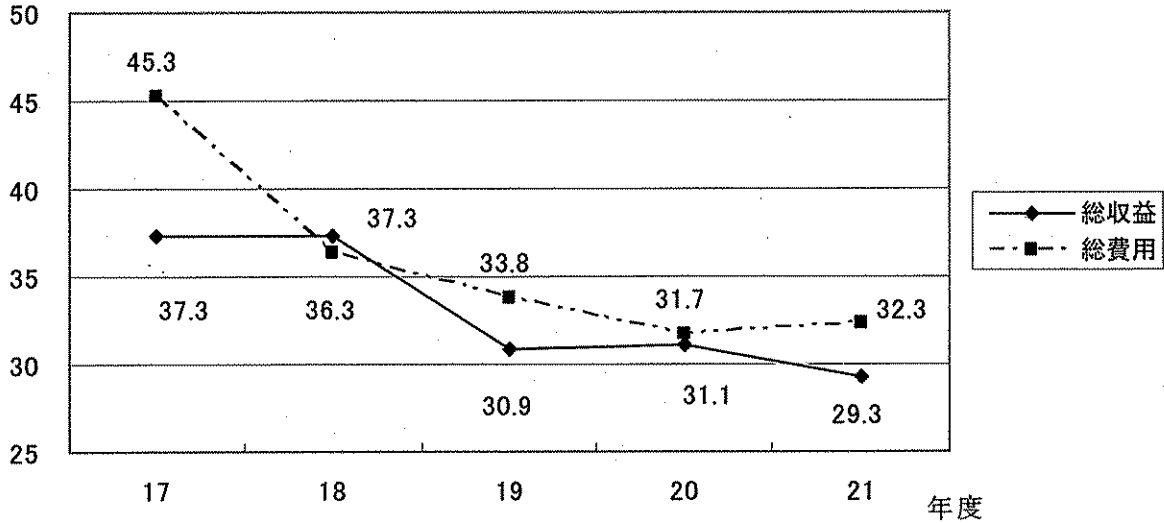
2 経常費用＝営業費用＋営業外費用

3 平成20年度全国平均は、「平成20年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」の都道府県営工業用水道事業の平均値

## 4 三重県電気事業

### (1) 総収益と総費用の推移

億円



### (2) 主な経営成績

項 目		平成21年度 (A)	平成20年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	(参考) 平成20年度 全国平均
電 気 計	経常収益 (千円)	2,929,177	3,112,649	△ 183,472	2,661,862
	うち電力料収入	2,582,474	2,771,416	△ 188,942	2,461,826
	経常費用 (千円)	3,231,059	3,173,612	57,447	2,413,202
	経常収支比率 (%)	90.7	98.1	△ 7.4	110.3
	平均売電単価 (円)	7.7	7.5	0.2	8.6
水 力	経常収益 (千円)	2,179,950	2,356,804	△ 176,854	—
	うち電力料収入	2,160,327	2,328,423	△ 168,096	—
	経常費用 (千円)	2,021,981	2,163,831	△ 141,850	—
	経常収支比率 (%)	107.8	108.9	△ 1.1	—
	平均売電単価 (円)	7.4	7.2	0.2	—
R D F	経常収益 (千円)	749,227	755,845	△ 6,618	—
	うち電力料収入 (千円)	422,147	442,993	△ 20,846	—
	うちRDF処理収入 (千円)	245,207	233,448	11,759	—
	経常費用 (千円)	1,209,078	1,009,781	199,297	—
	経常収支比率 (%)	62.0	74.9	△ 12.9	—
	平均売電単価 (円)	9.1	8.9	0.2	—

- (注) 1 経常収益＝営業収益 (RDFは附帯事業収益) + 営業外収益  
 2 経常費用＝営業費用 (RDFは附帯事業費用) + 営業外費用  
 3 平成20年度全国平均は、「平成20年度地方公営企業年鑑 (総務省自治財政局編)」の都道府県営電気事業の平均値